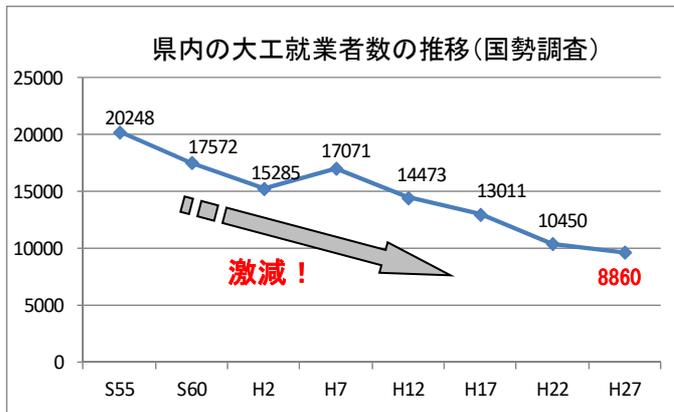


木造建築物の担い手確保に向けた啓発事業

現状と課題

□大工技能者の減少と高齢化



木造住宅の担い手である大工技能者の不足は新築はもちろん既存住宅のリフォーム等、県民の住生活に重大な影響を及ぼすおそれ

- ✓ 木造建築物の担い手である大工就業者数が減少
- ✓ 全国の大工技能者の60歳以上の割合が**28.3%**に達しており、団塊世代の大量退職の影響が補いきれない状況
- ✓ 30歳未満の若手大工職人は**3%**(長野県建設労働組合)



木造建築担い手育成啓発事業

□ キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣

- ✓ 大工技能者の技能・技術を間近で見る機会を設定
- ✓ 大工技能者4名を派遣
- ✓ 木材カンナ削りの実演・体験指導等
- ✓ 在来木造構造の実寸モデルに触れる
- ✓ 大工技能者個人の経歴・就業意欲に触れる
- ✓ 木製椅子の作成体験



【実施フロー】

